〔文化財伝承等の取組事例〕

# 「高山中学校の流鏑馬伝承活動の取組」

| | |
|---|---|
| １．学校名 | 肝付町立高山中学校 |
| ２．学年・人数 | 全校生徒　252 人，教職員　24 人 |
| ３．日時・場所 | ⑴　練習の日時・場所<br>令和６年９中旬～10 月中旬　肝付町四十九所神社参道<br>⑵　発表の日時・場所<br>令和６年 10 月 20 日　肝付町四十九所神社参道 |
| ４．伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事，伝統工芸品について | ⑴　名　称<br>高山四十九所神社の「流鏑馬」<br>⑵　由　来<br>本校では，例年 10 月第３週に四十九所神社で奉納されている高山流鏑馬に「綱持ちボランティア」として参加している。高山流鏑馬が行われる四十九所神社は，伴兼行により永観２年（984 年）に創建されたと言われている。流鏑馬が行われるようになったのは，高山城の築城から約 100 年後とされている。<br>⑶　麓郷土の 15 歳の男子が継承してきたが，現在は保存会が中心となり，中学２年の男子を射手として選び，継承されている。 |
| ５．文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等 | 本校では，毎年１年の授業で「流鏑馬講話」の時間を設定している。当日は，流鏑馬保存会と前年度の射手の生徒から，流鏑馬にかける思い等を述べる時間を設定している。また，綱持ちボランティアの際には，方法についてその都度指導いただいている。本祭の時には，的持ち，露払い，巫女，潮がけの日やアナウンスなど，学校としてもできる限り協力している。 |
| ６．取組の様子（練習状況，発表の場等） | |
| ７．感想・意見<br>（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等） | 【綱持ちに参加した生徒の感想】<br>・今日，綱持ちがありました。初めてだったのでどんな感じなんだろうと思いました。綱を持ってみると，馬を近くで見れたし，貴重な体験でした。これからもこの伝統を守りたいです。<br>・綱持ちに行くと，地域の人が声をかけてくれました。行事に参加することで，いろいろな人と交流できるので，これからも進んで参加したいです。 |